

北浜投資塾ライブセミナー

ガソリン高騰！ 原油先物から学ぶ背景と展望

2021年12月20日 大阪取引所

マーケットエッジ株式会社 代表取締役
小菅 努

2021年の原油相場を振り返る



インフレの最前線 ~パンデミック発生後に国内商品先物相場が高騰~



ガソリン価格は、2014年以来の高値を更新 ～家計と輸送コストに影響～

(円/リットル)

レギュラーガソリン全国平均価格

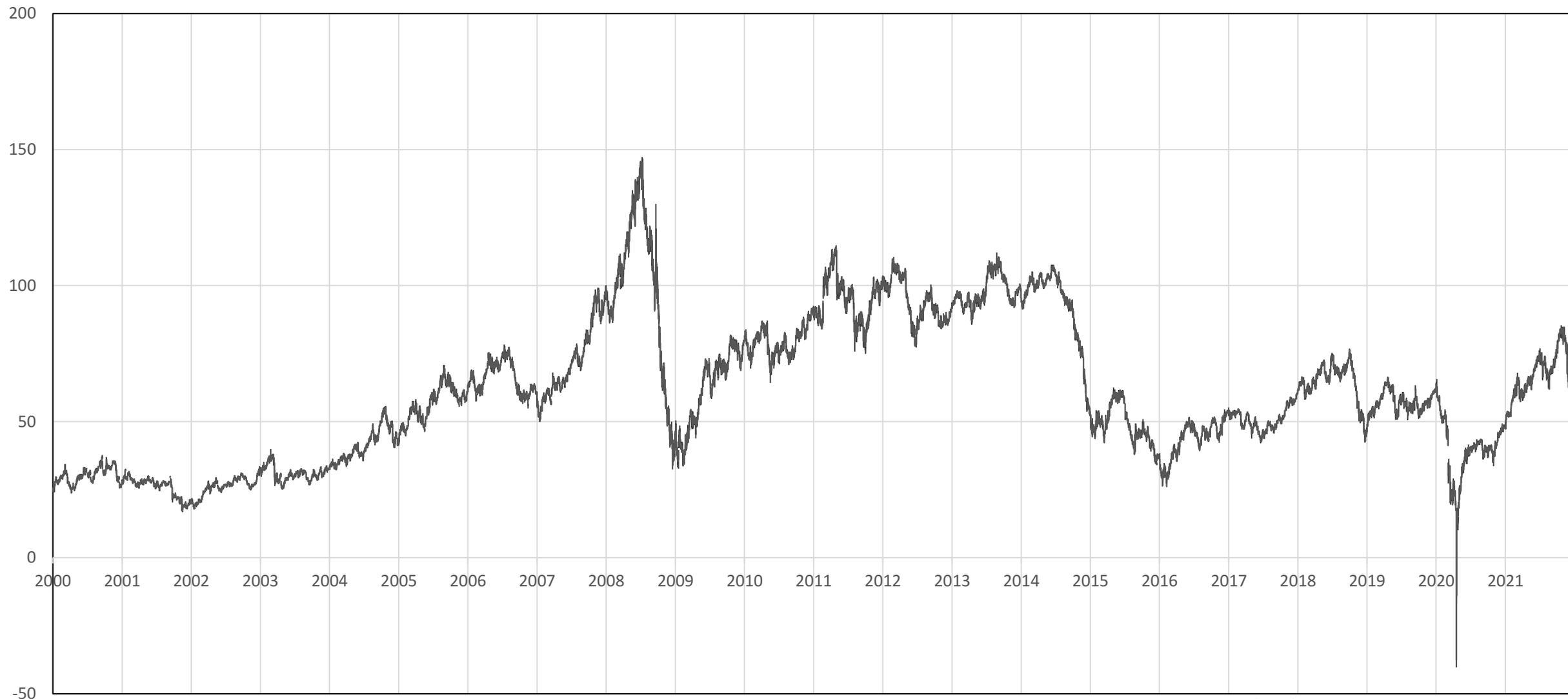


(出所) 資源エネルギー庁よりマーケットエッジ作成

なぜガソリン価格が高騰した？ ～WTI原油先物相場をみれば分かる～

(ドル/バレル)

NYMEX原油先物相場

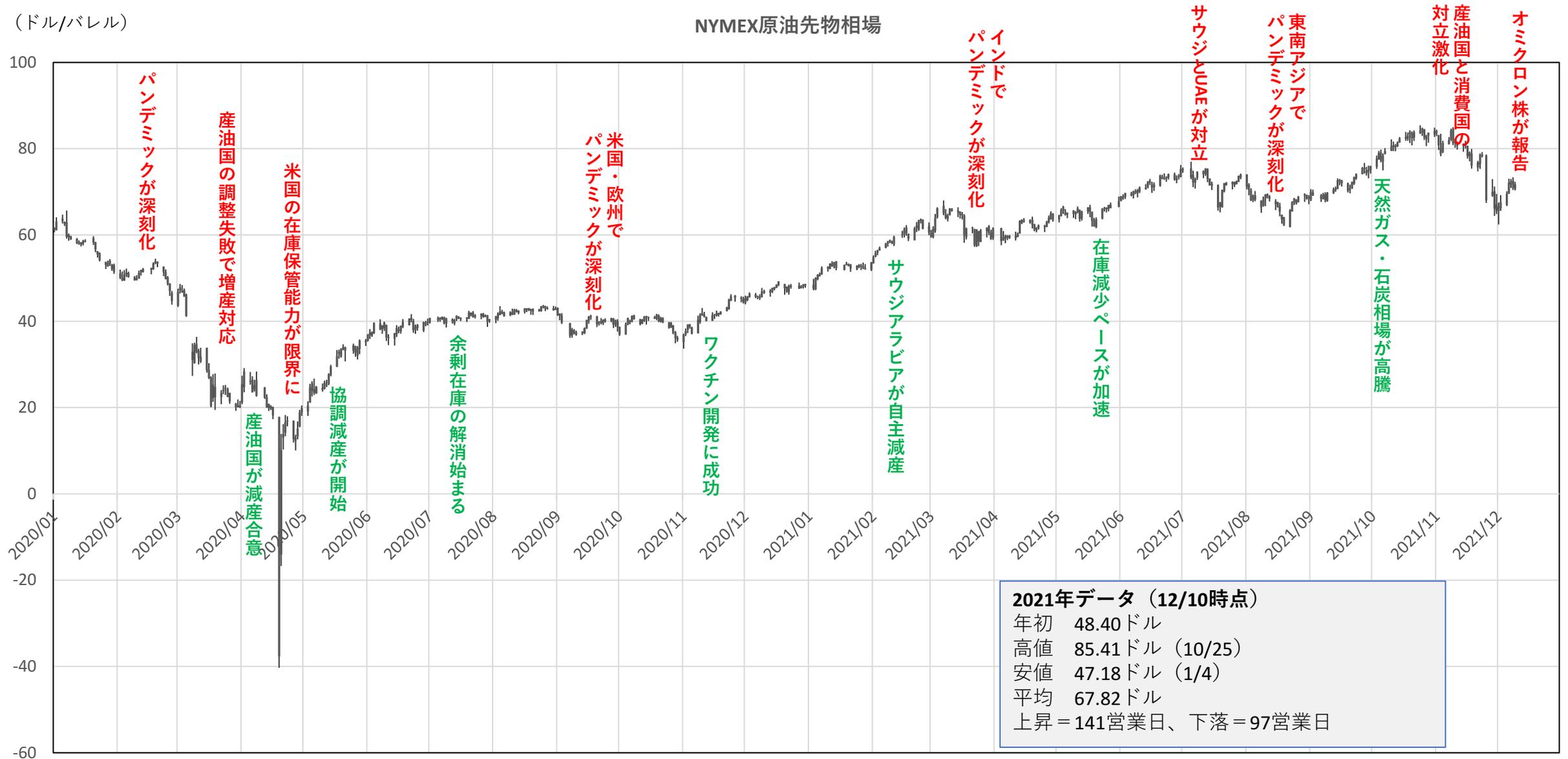


(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

2021年の原油相場を振り返る ～パンデミックの波を乗り切る～

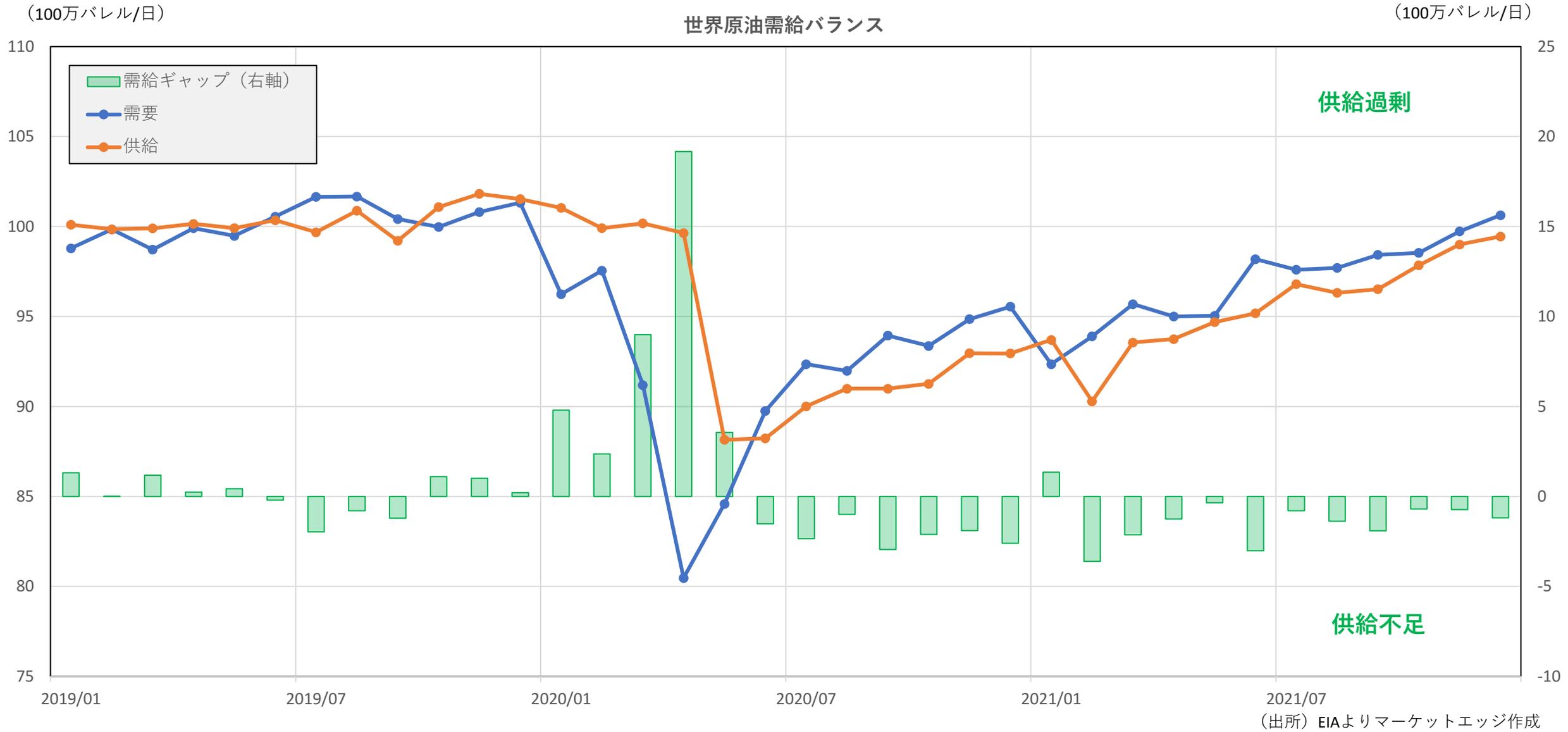
(ドル/バレル)

NYMEX原油先物相場

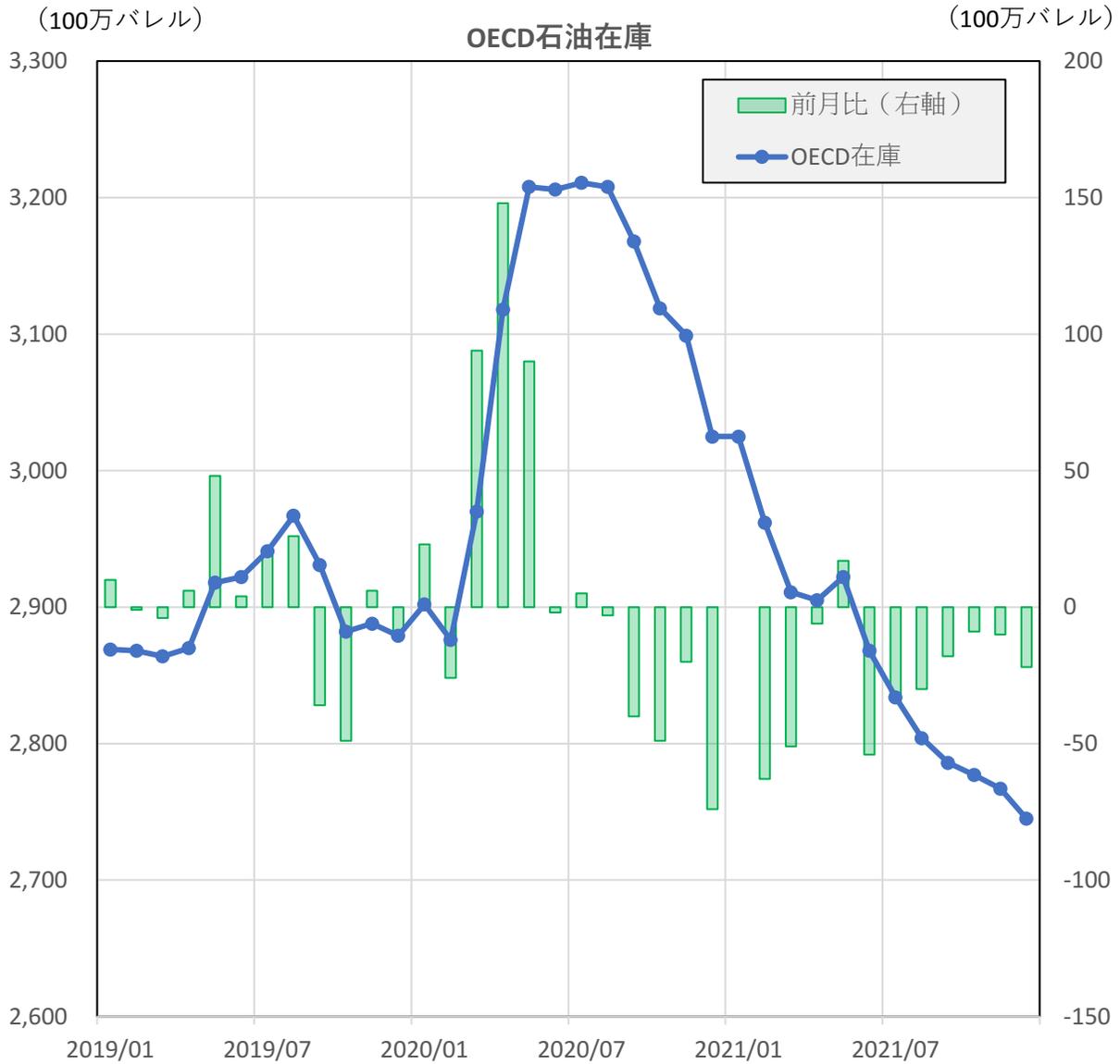


(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

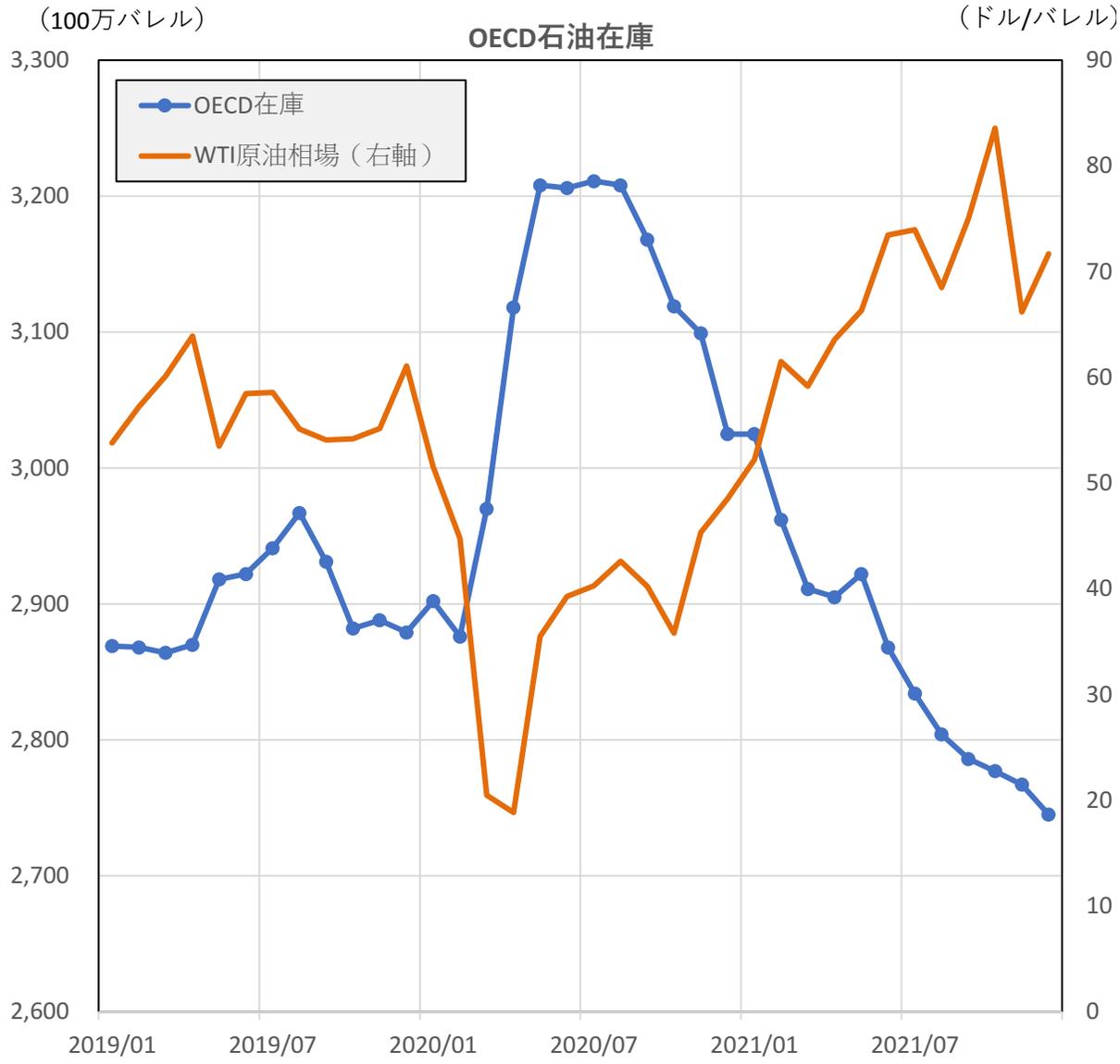
2021年の原油需給を振り返る ～年間を通じて供給不足傾向に～



OECD石油在庫はパンデミック前の水準を下回る



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

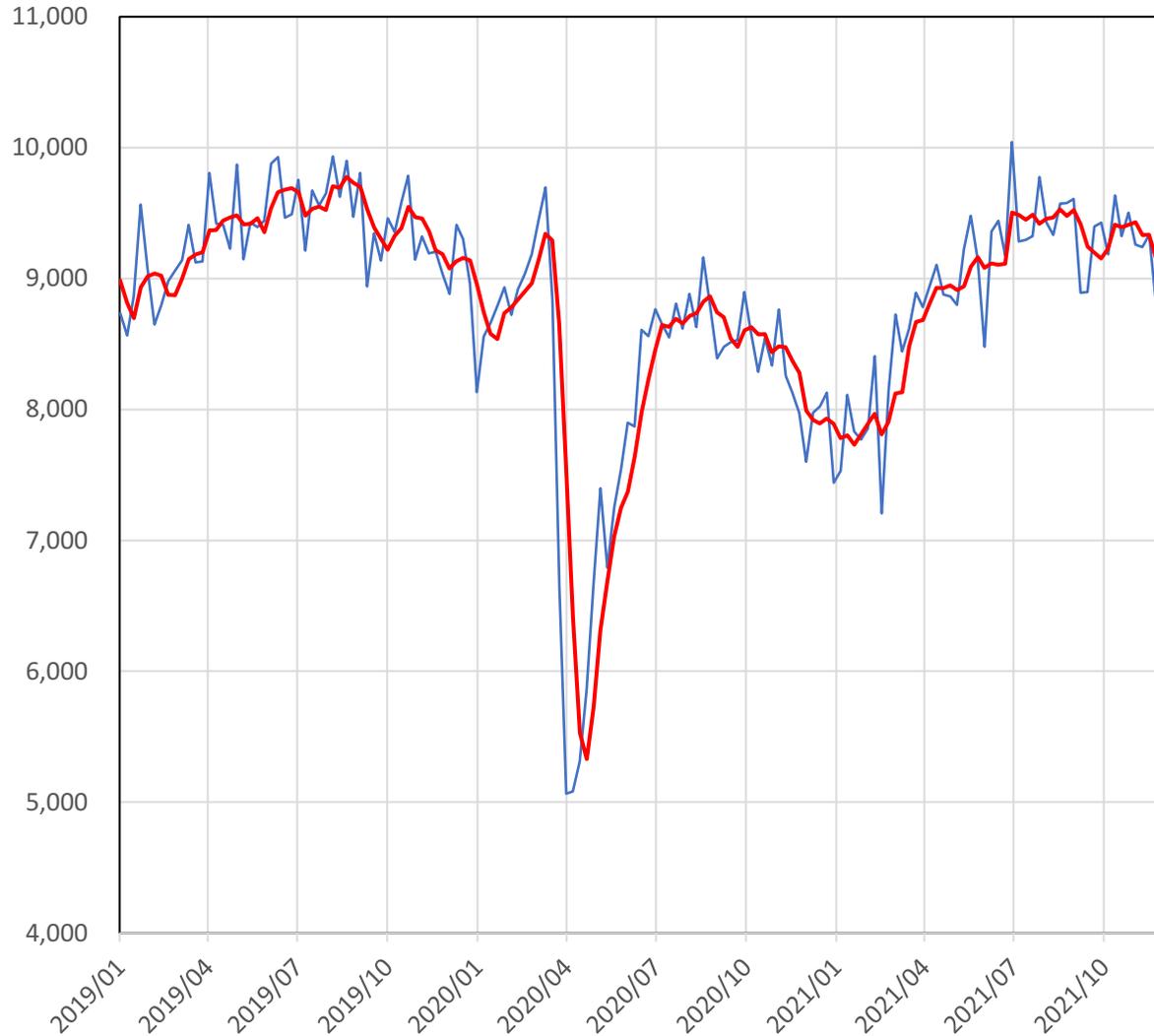


(出所) EIA、Refinitivよりマーケットエッジ作成

米石油需要環境は、2021年の年末時点でほぼ正常化

(1,000バレル/日)

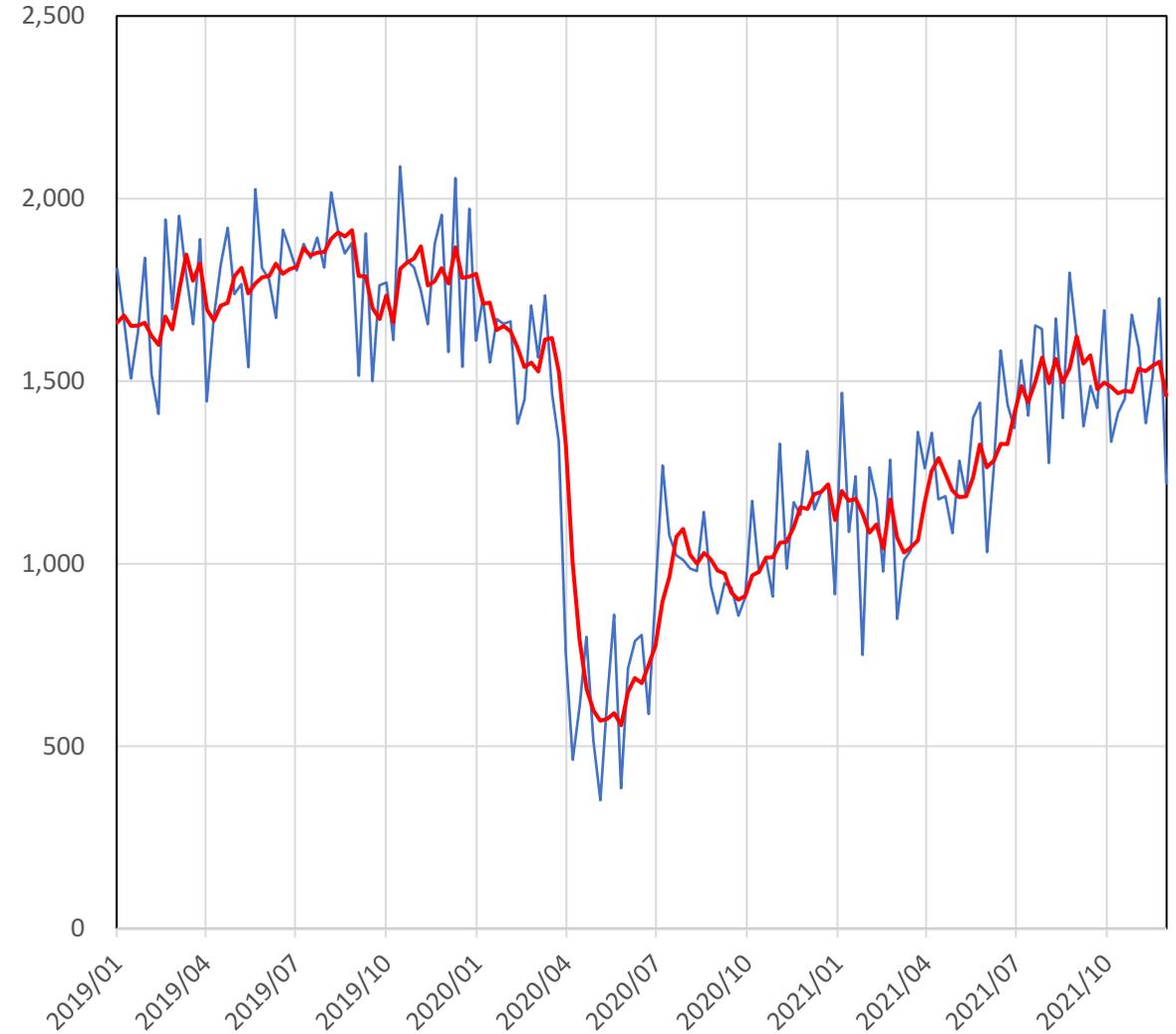
米ガソリン需要



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

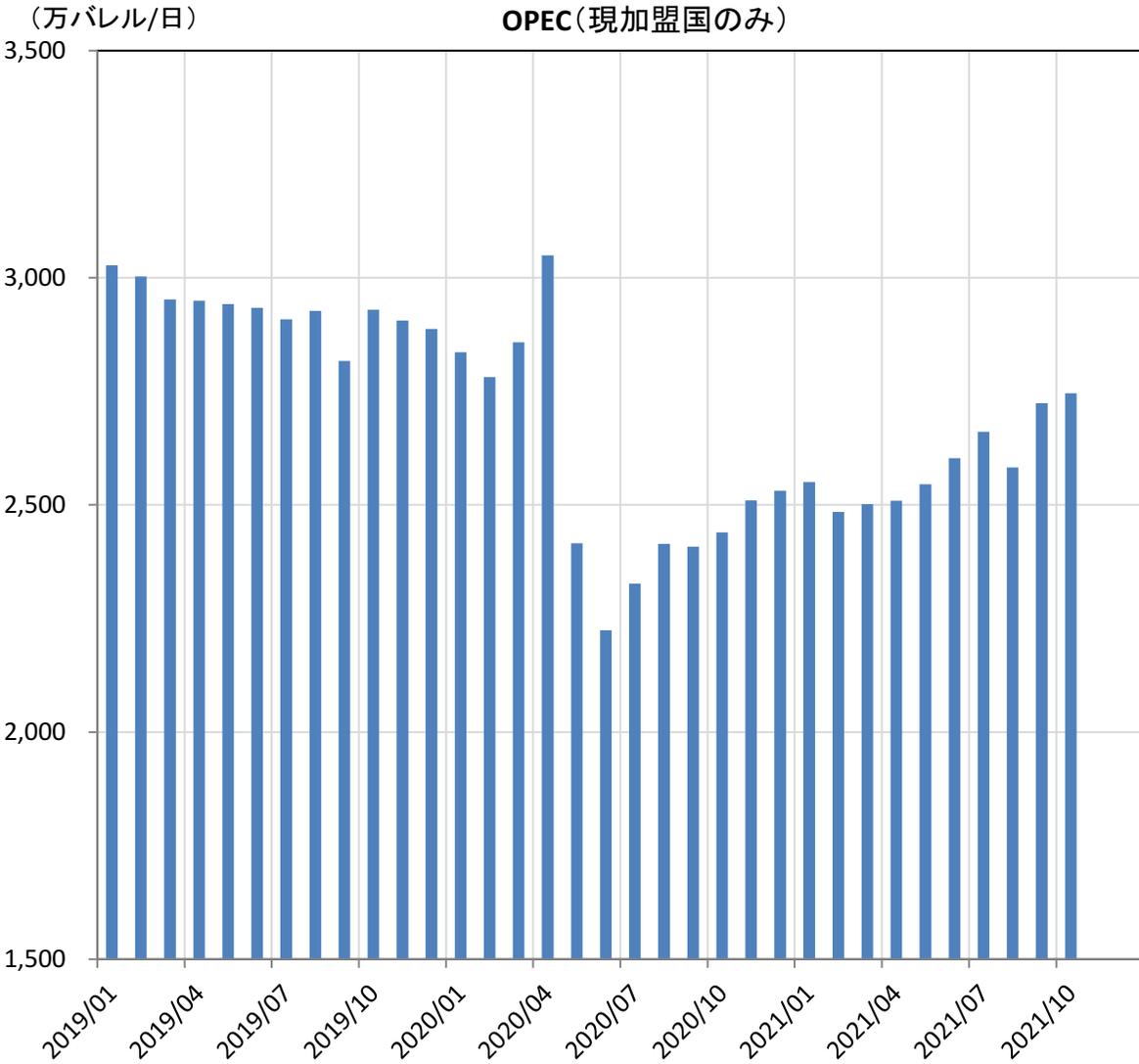
(1,000バレル/日)

米ジェット燃料需要

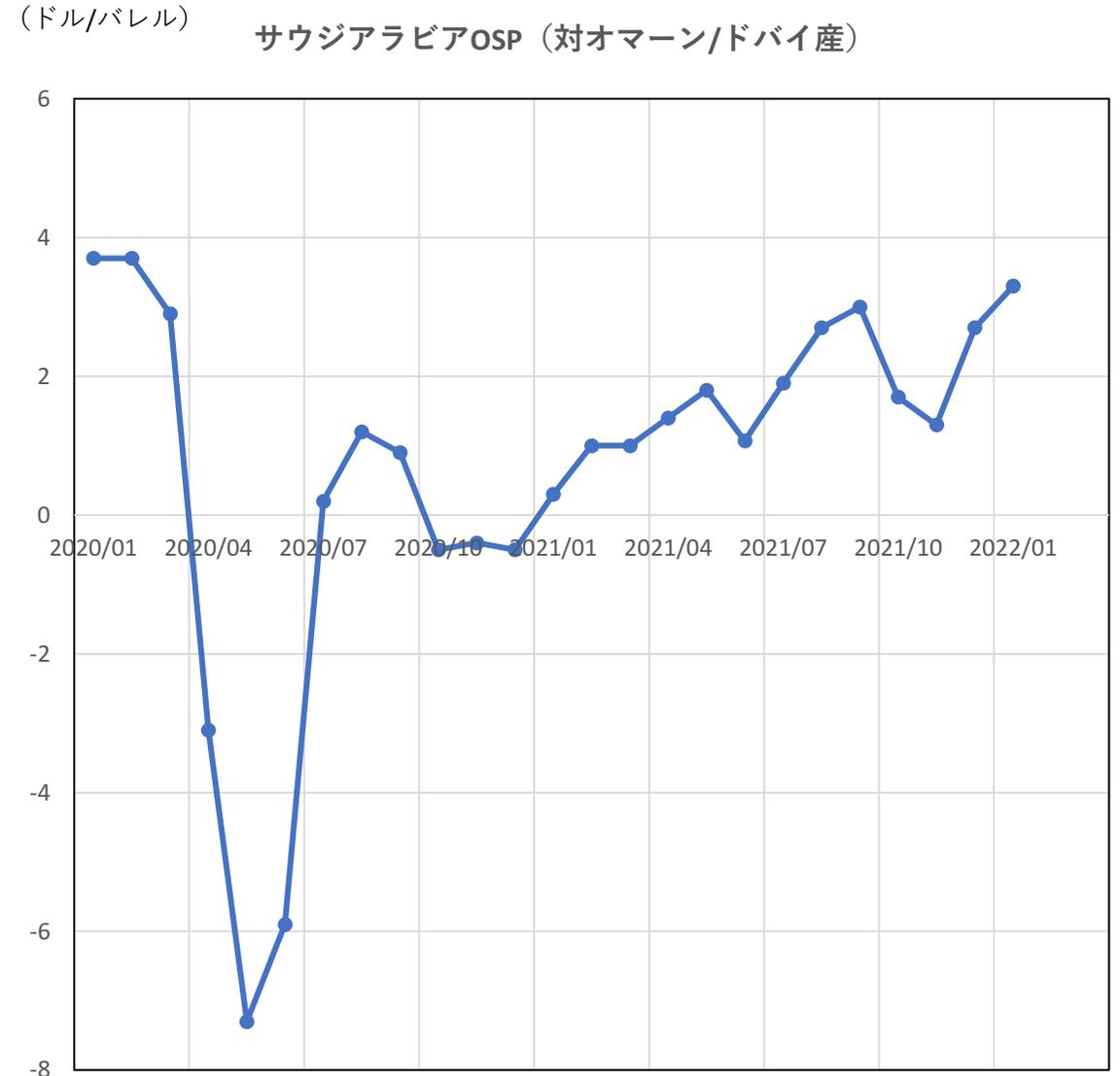


(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

OPECは緩やかな増産対応 ~サウジアラビアOSPも着実に上昇~

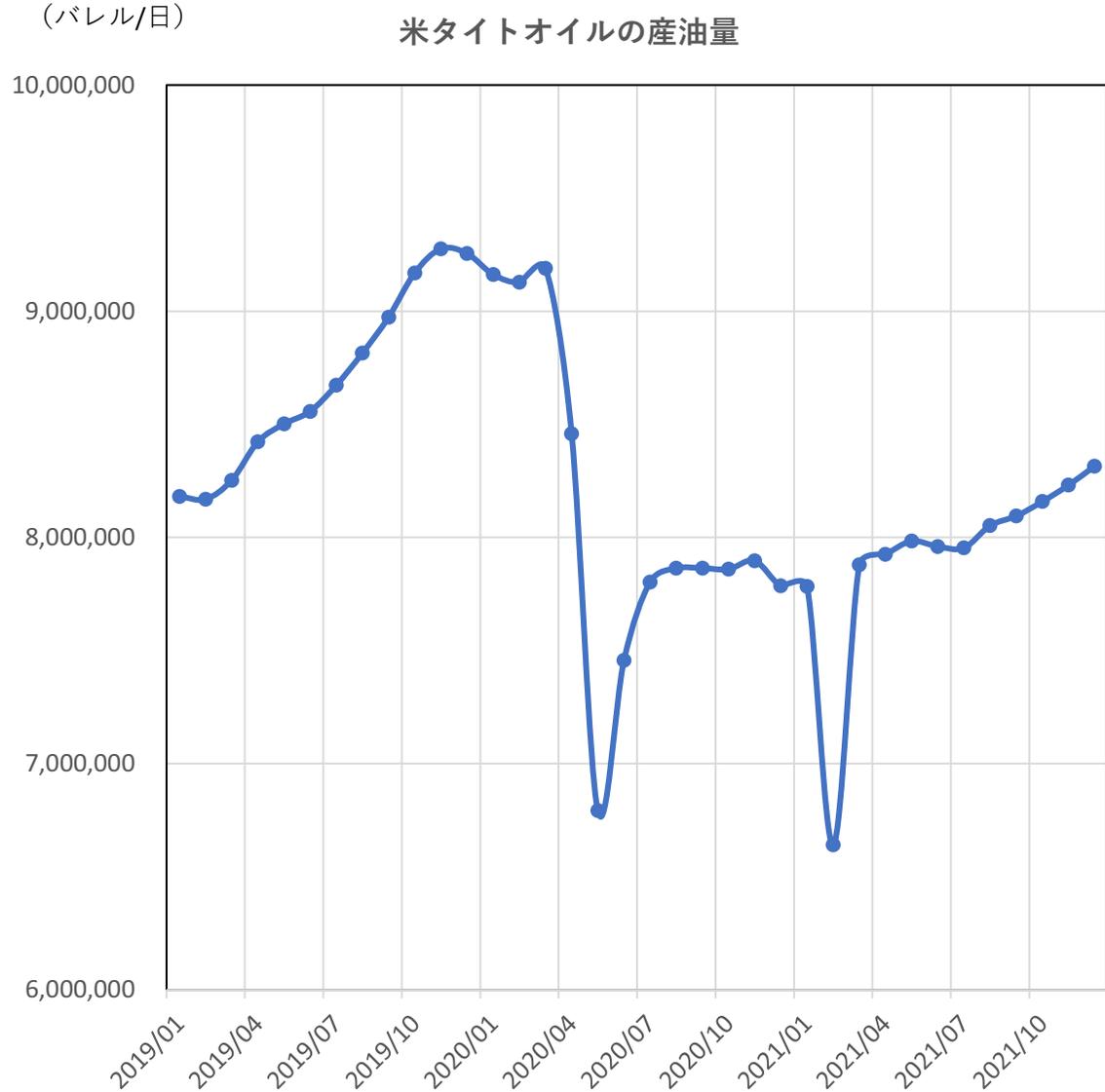


(出所) OPECよりマーケットエッジ作成

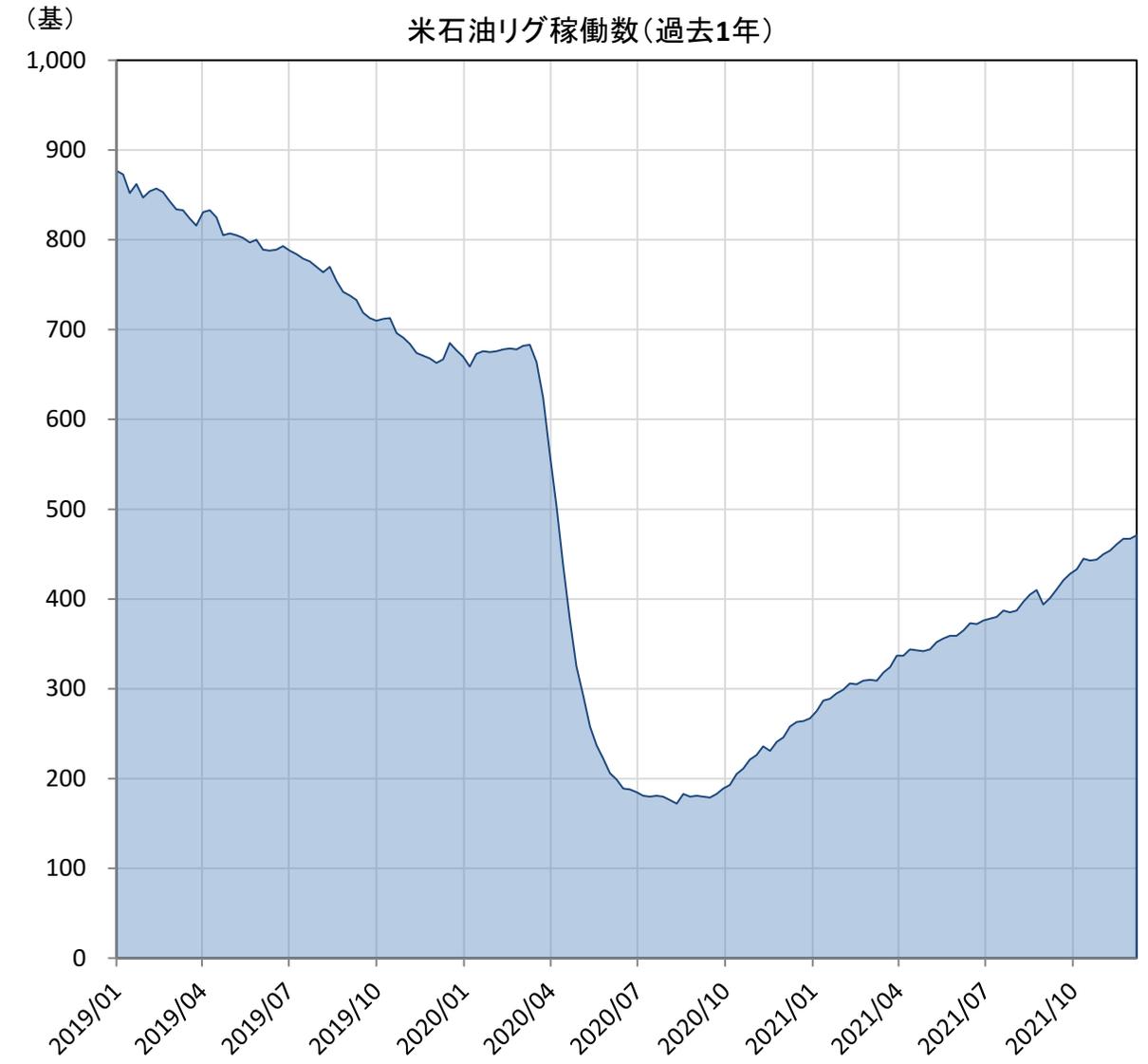


(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

シェールオイルはどうなった？ ～緩やかな増産に留まる～

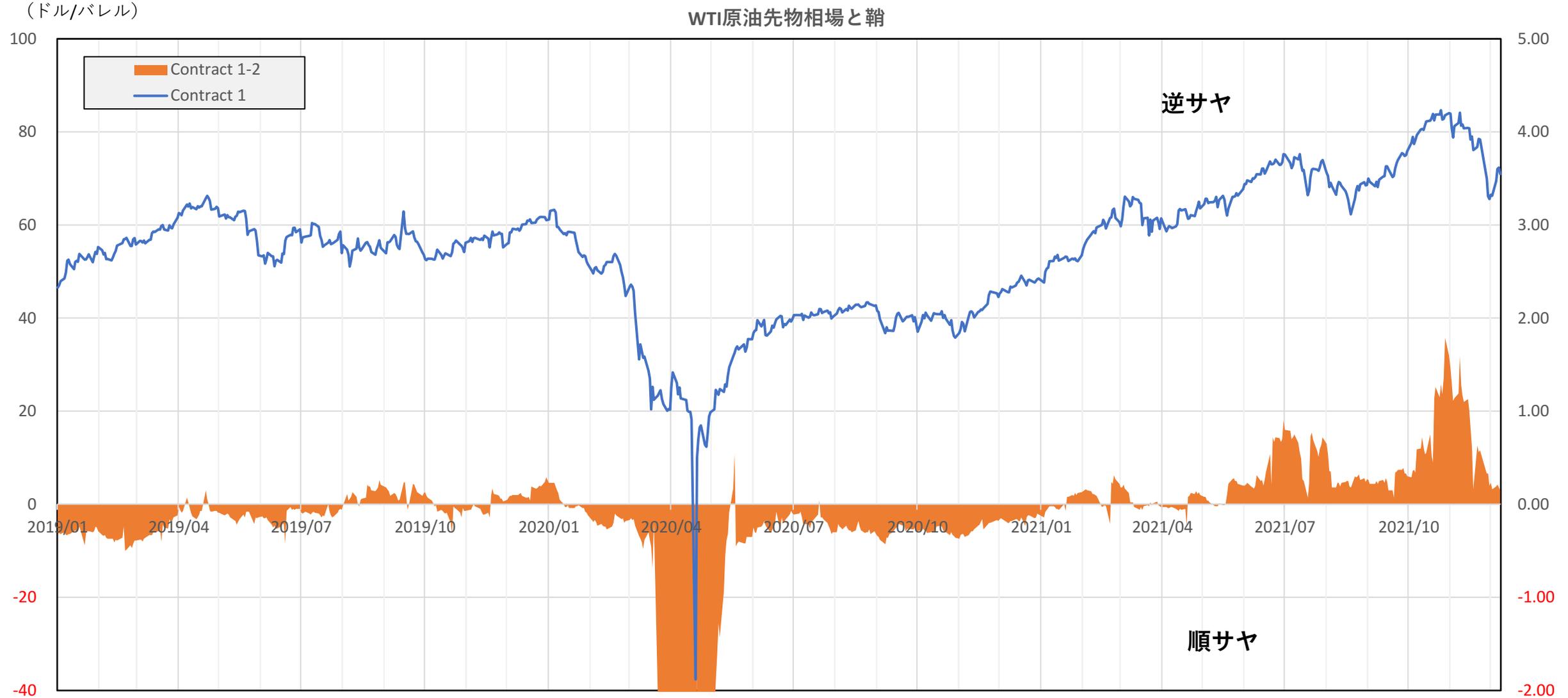


(出所) EIAよりマーケットエッジ作成



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

順サヤから逆サヤへの転換 ～需給タイト感を反映～



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

2022年の原油投資環境を考える

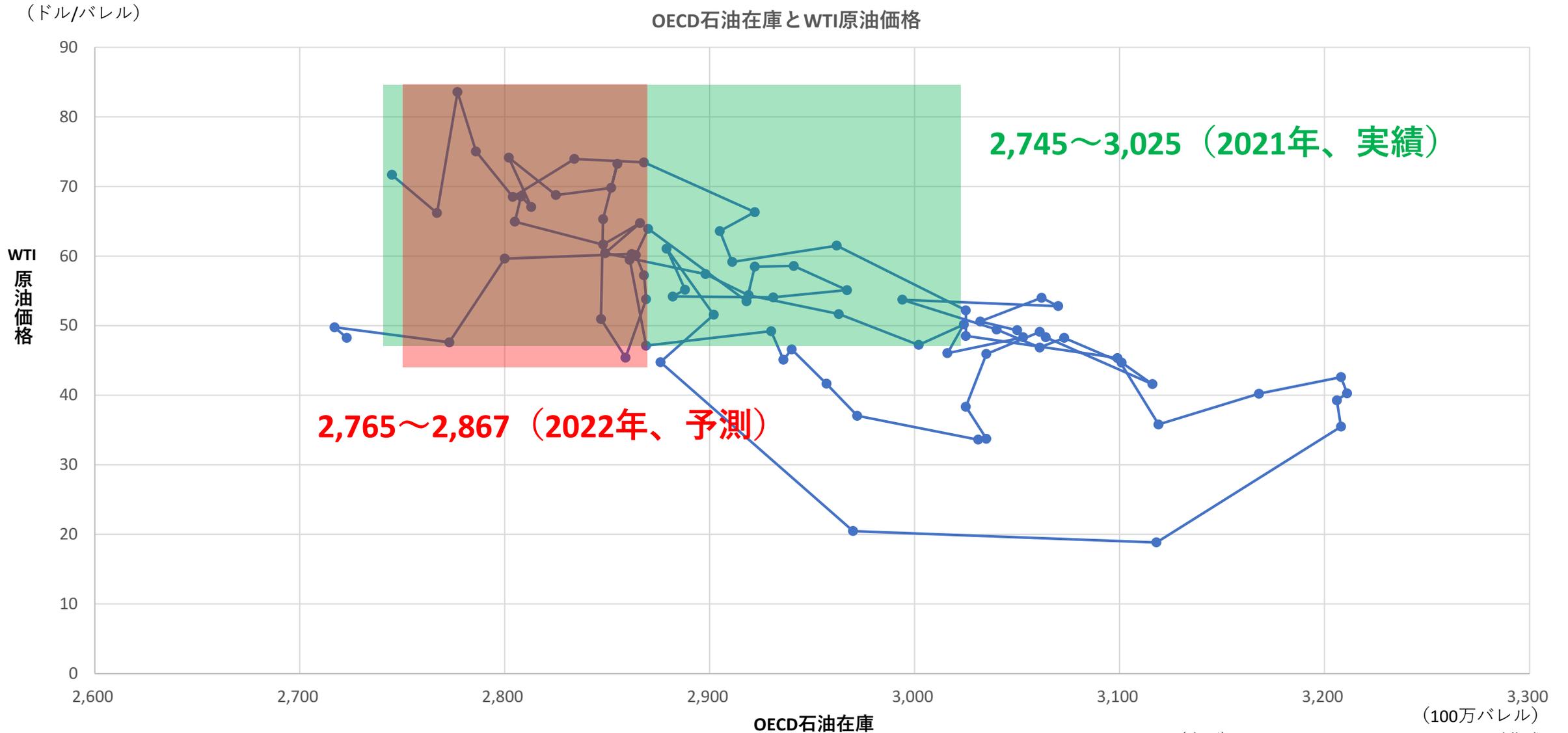
～CME原油先物の投資戦略～



2022年は小幅の供給過剰を予想する声強い ～在庫削減は目標達成～

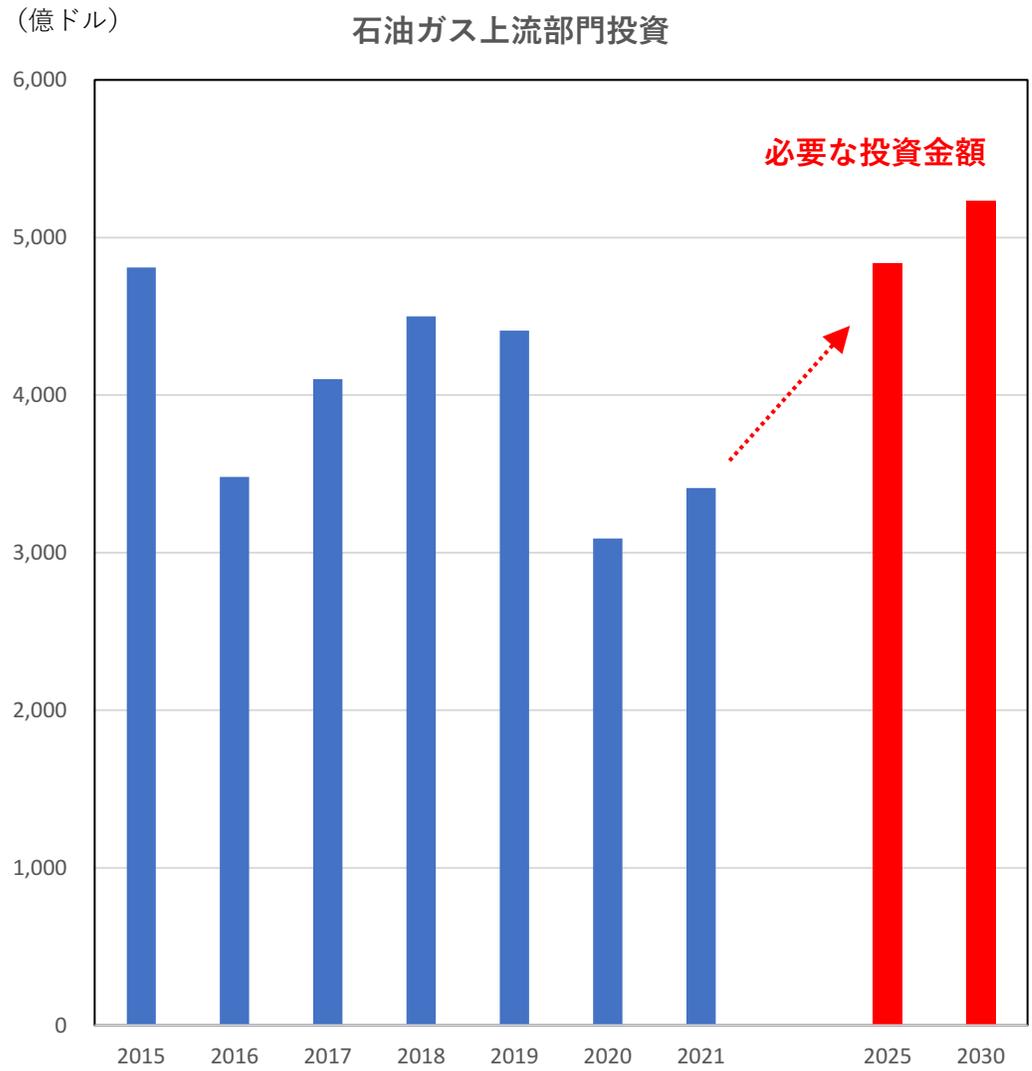


現時点でのOECD石油在庫見通しから想定される理論値

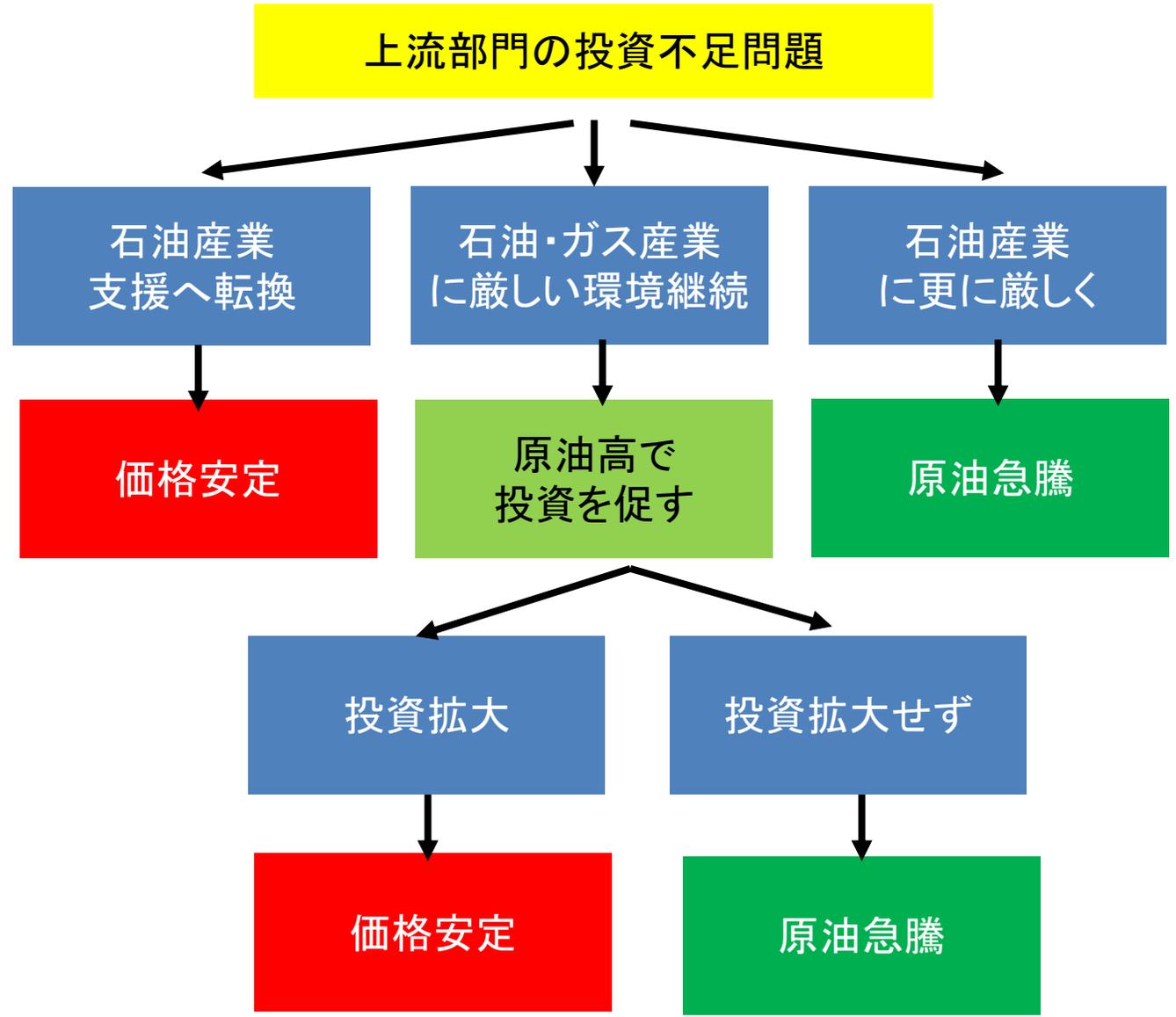


(出所) EIA、Refinitivよりマーケットエッジ作成

原油価格の不都合な真実① ~需要を満たすための投資が足りない~



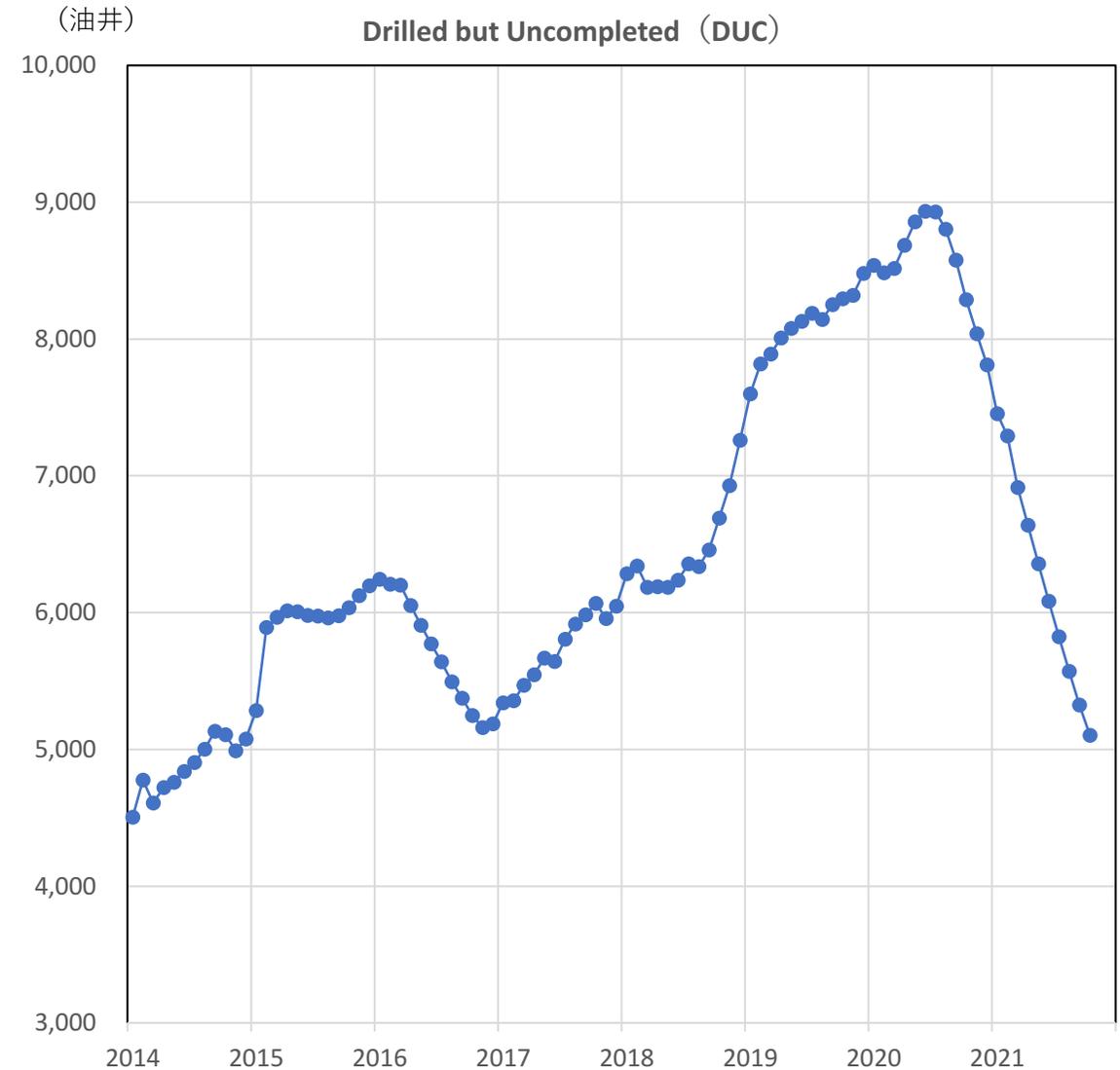
(注) 2025年と30年は需要を満たすために必要な金額、IEF予測
(出所) IEF、IHS Markit、Bloomergよりマーケットエッジ作成



原油価格の不都合な真実② ～シェールは本当に増産可能か？～

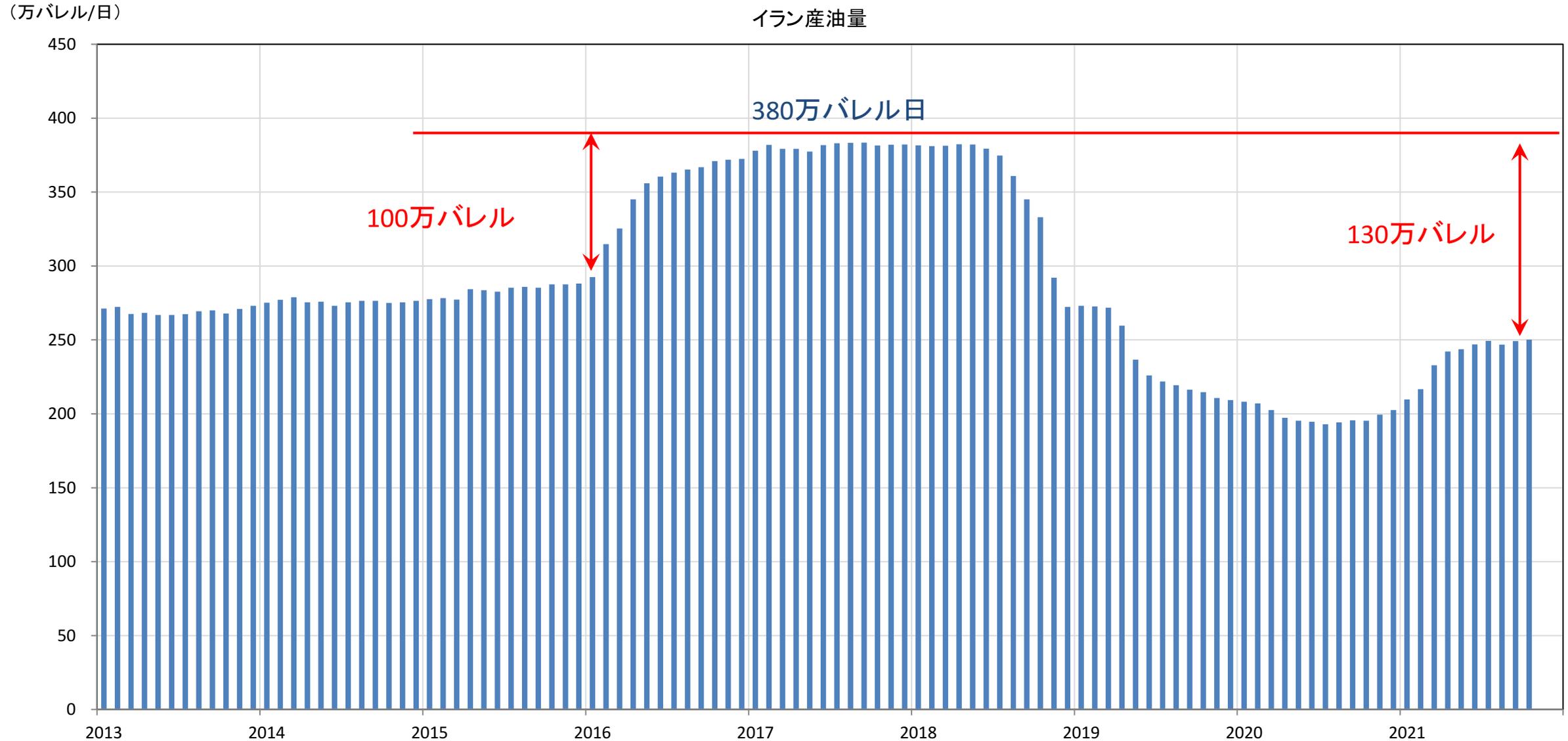


(出所) EIAよりマーケットエッジ作成



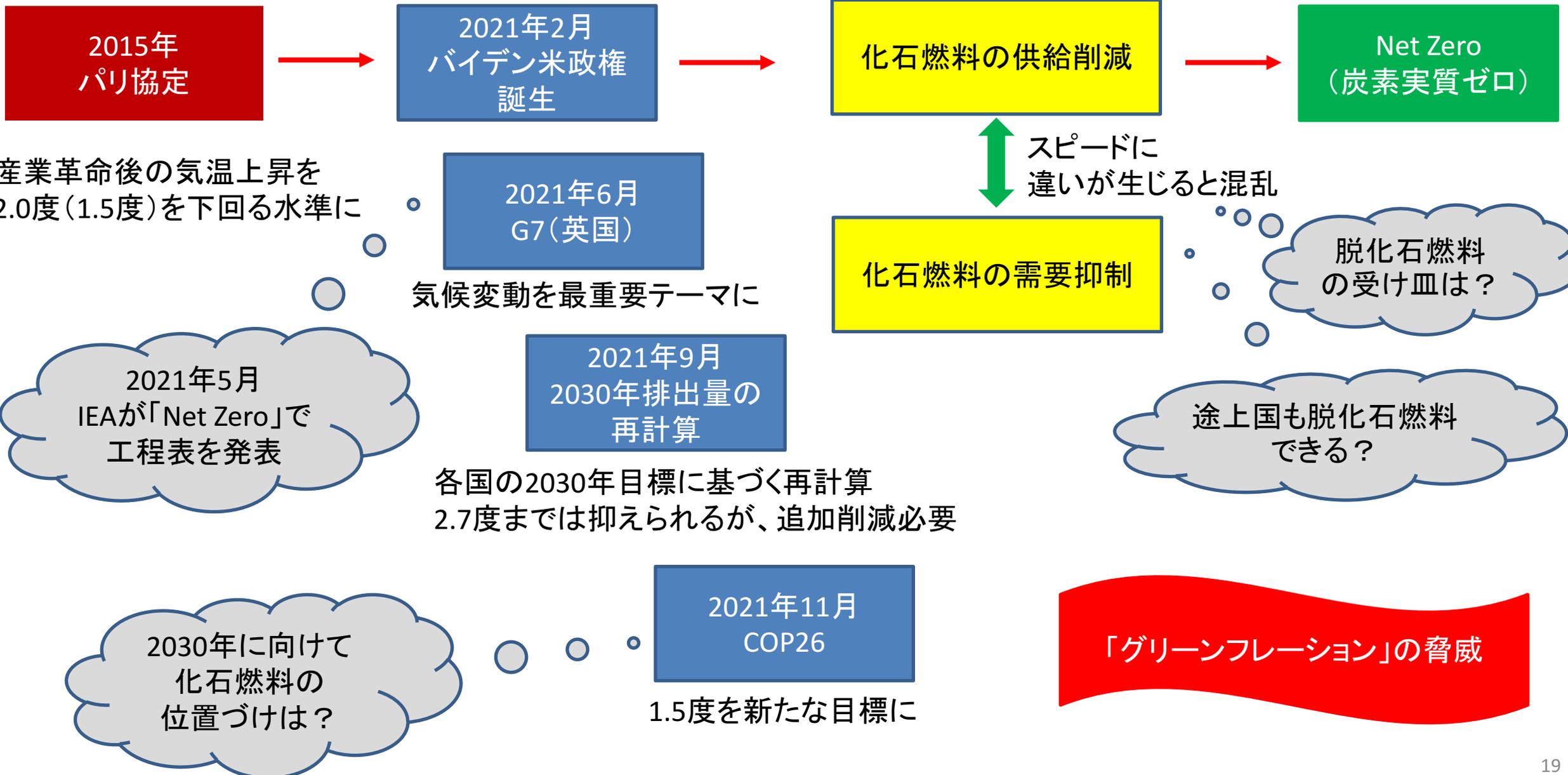
(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

原油価格の不都合な真実③ ~ワイルドカードとしてのイラン情勢~



(出所)OPECよりマーケットエッジ作成

原油価格の不都合な真実④ ~エネルギー移行を巡るリスク~



CME原油先物の投資戦略① ～個人投資家の原油投資ツール～

CME原油先物とWTI原油先物相場

(pt、2020/8/3 = 100) (ドル/バレル)



WTI原油先物投資と
ほぼ同じパフォーマンスを狙える

(注) 2021/9/20までは原油先物等指数

(出所) CME、Refinitivよりマーケットエッジ作成

CME原油先物の4つの特徴

- 1) WTI原油先物と高い相関がある
- 2) 為替を気にせず円建てで取引できる
- 3) 最終決済は現金で行うため、現物のやり取りはない
- 4) 大阪取引所の先物・オプションと同じ口座で取引可能

CME原油先物(正式名称:CME原油等指数先物)

取引対象	CME原油等指数
取引単位	CME原油等指数 × 10,000倍
呼値単位	0.05ポイント (1取引単位当たり500円)
限月取引	直近6限月
取引最終日	各限月の第一営業日
取引時間	8:45~15:15、16:30~翌6:00
制限値幅	通常10%、第一次拡大20%、第二次拡大30%
決済方法	現金決済

CME原油先物の投資戦略② ～使い方と注意点～

WTI原油先物の短期動向で収益を狙う →「CME原油先物」(大阪取引所)

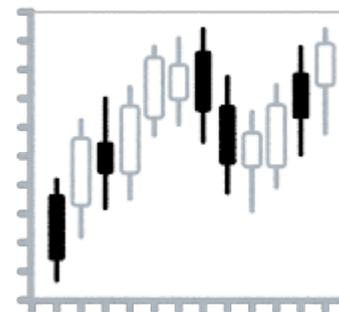
- ・WTI原油(NY原油)の値上がり/値下がりに基づく売買では、値動きが最も分かり易い取引。
- ・WTI原油先物と同様に当限に出来高が集中。現状では、長期投資ではなく短期投資向き。
- ・期中から期先は流動性が低い。小さい取引枚数向け。
- ・期中から期先も流動性が高まると、サヤ取引も対象に。

原油価格の中長期動向で収益を狙う →「プラッツドバイ原油先物」(TOCOM) or「原油ETF」(東京証券取引所)

- ・大きな取引枚数、中長期投資が可能。
- ・為替などの影響を受けるため、価格形成は複雑。
- ・原油ETFはサヤ環境によって、値動きが複雑化する。

金融商品も含めたデリバティブ市場における 機動的な売買で収益を狙いたい →「CME原油先物」(大阪取引所)

- ・大阪取引所の先物・オプション口座内で、様々な銘柄との取引が可能。
- ・「日経225先物」、「日経225オプション」、「NYダウ先物」、「金標準先物」、「天然ゴムRSS先物」、「トウモロコシ先物」などに加えることで、様々な投資環境下において投資機会を拡大できる。
- ・分散投資としての活用も。



北浜投資塾 WEBサイト

北浜投資塾 メールマガジン

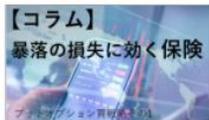
登録は北浜投資塾サイトの「メールマガジン」「メルマガ」から！

おすすめコンテンツ

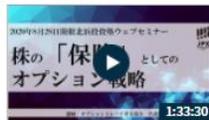
下落相場でも利益を狙う戦略に興味のある方はこの3本！



相場急落時でのブット買い成功事例
#ブット買い #事例 #下落予想



ブットオプションの買い戦略 (その1)



株の『保険』としてのオプション戦略～コロナショックの事例～
#ブット買い #リスク #下落予想 #ウェブセミナー

初めての方

北浜投資塾について
わかりやすくご紹介します

カテゴリから選ぶ

- ▶ かぶオプ
- ▶ 先物
- ▶ OP
- ▶ コモディティ
- ▶ コラム

<https://www.jpx.co.jp/ose-toshijuku/>



12/20開催「ガソリン高騰！ 原油先物で学ぶ背景と展望」【北浜投資塾ライブセミナー】のご案内



北浜投資塾運営
2021/12/01 (水) 17:00
宛先: 自分



※このメールは北浜投資塾のメールマガジンにご登録いただいた方にお送りしています。このアドレスは送信専用アドレスです。

日本取引所グループ（J P X）大阪取引所がお届けするリアルタイムWebinarです。講師にマーケットエッジ代表取締役小菅努氏、ナビゲーターにフリーアナウンサー大橋ひろこ氏を迎え、最近の商品価格の高騰の背景について学び、CME原油先物取引の活用方法やこれからの原油動向をテーマにお話しできます。

講師の方への事前質問も募集しております。ぜひ、お申込みください！

▼お申込みはこちら▼

<https://www.jpx.co.jp/learning/seminar-events/d04/20211220-01.html>

【原油と株価】

株式市場と原油相場との相関性を教えてください。

日経平均と原油価格の相関性についてコメント頂けると助かります、宜しくお願い致します。

WTI原油とS&P500種の比較

(ドル/バレル)

原油と米国株

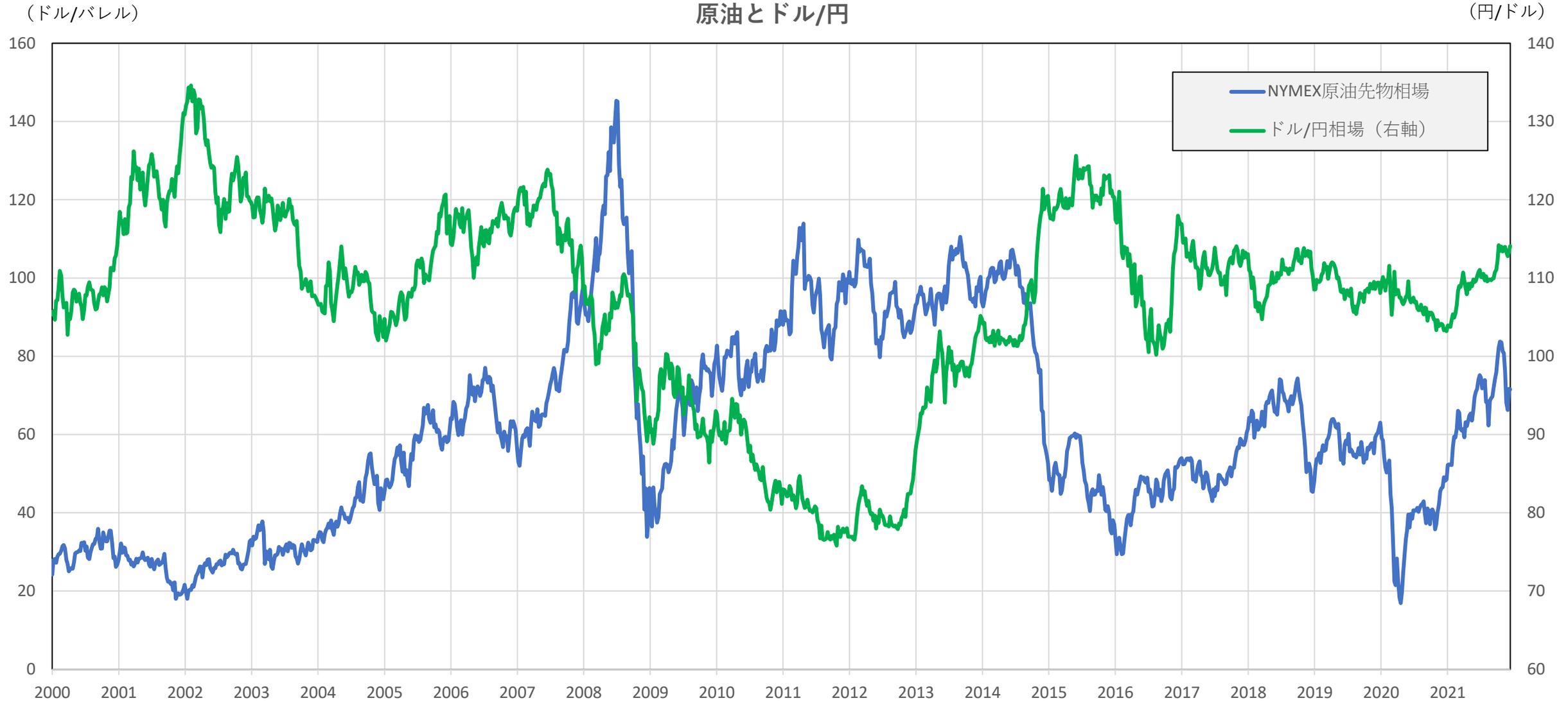


(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

【原油と円相場、WTI原油先物と原油ETF】

ダブルブル2038と野村原油1699は、wti原油と分足の相関があるのでしょうか？また、日によっては、同じwti原油であっても価格が違う事がある様です。理由や相関の計算方法を教えてくださいませんか？

WTI原油とドル/円相場の比較



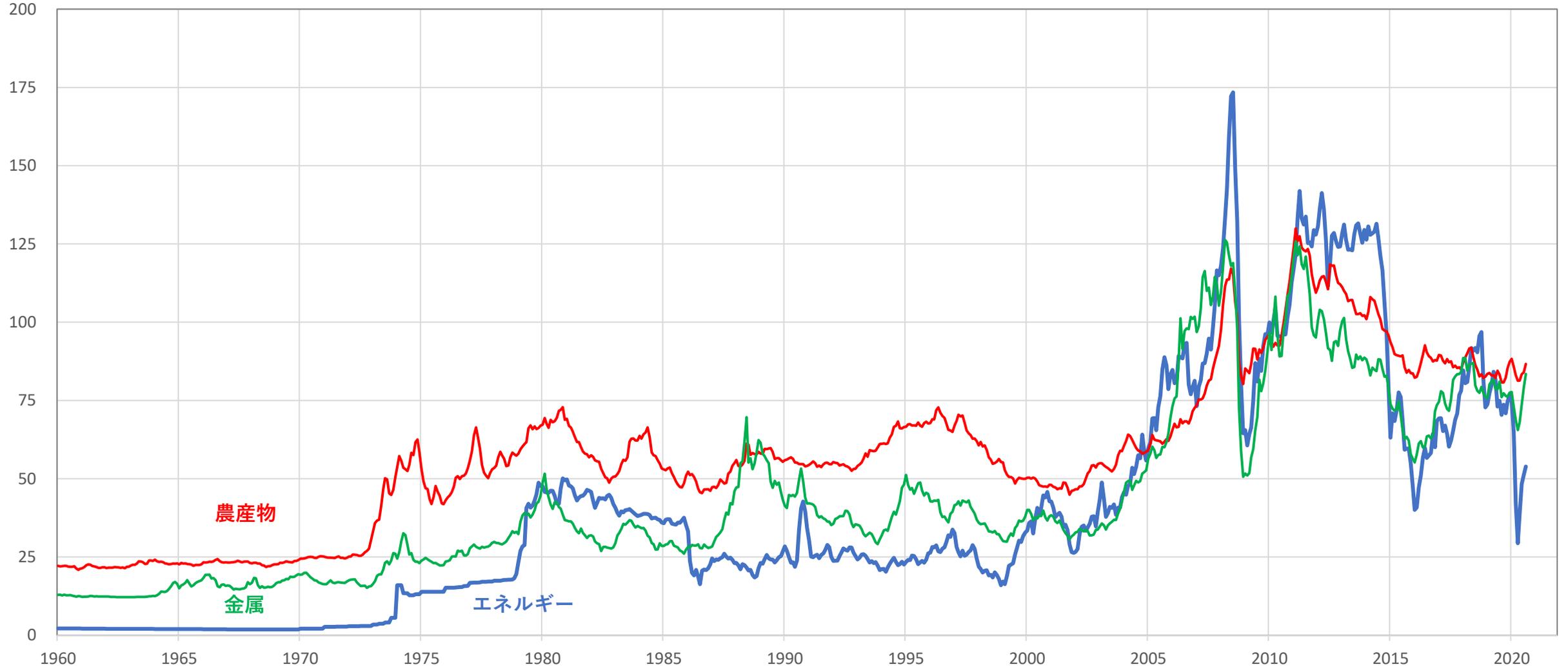
(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

【原油と他コモディティ相場】

原油が高騰すると他のコモディティも影響を受けるイメージがあるが、実際どの程度の影響があるものなのか知りたい。

(指数、ドル建て名目価格、2010 = 100)

コモディティ価格の長期トレンド



(出所) World Bankよりマーケットエッジ作成

【プロフィール】

マーケットエッジ株式会社

代表取締役 小菅 努 (Tsutomu Kosuge)

Webサイト <https://www.marketedge.co.jp/>

お問合せ先 kosuge.tsutomu@outlook.com

1976年千葉県生まれ。筑波大学第一学群社会学類(法学)卒。商品先物取引・FX会社の営業部、営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨークに駐在してコモディティ・金融市場の分析を学びながらアナリスト業務を本格化。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。商社、事業法人、金融機関、個人投資家向けのレポート配信業務、各種レポート/コラム執筆、講演などを行う。

時事通信社「アナリストの目」/「JII Gold Daily Report」、中部経済新聞「私の相場感」、ゴム報知新聞「Market Analytics」、Yahoo!ニュース「コモディティアナリストの視点」、ラジオ日経「マーケット・トレンドPLUS」、ストックボイス「JPXデリバティブ・フォーカス」。その他、メディアや金融情報ベンダーなどへの情報提供も多数。

- ・有料メルマガ「小菅努のコモディティ分析」 <https://foomii.com/00025>
- ・Yahoo! ニュース「コモディティアナリストの視点」 <https://news.yahoo.co.jp/byline/kosugetsutomu/>
- ・Twitter @kosuge_tsutomu



日本取引所グループ

東京証券取引所

大阪取引所

東京商品取引所

日本取引所自主規制法人

日本証券クリアリング機構

- 本動画は、情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘や特定の金融商品取引業者等との取引を推奨することを目的として作成されたものではありません。
- 株式会社日本取引所グループ、株式会社東京証券取引所、株式会社大阪取引所、株式会社東京商品取引所、日本取引所自主規制法人及び株式会社日本証券クリアリング機構(以下、総じて「JPX」といいます。)は、利用者に対して、本動画により生じたいかなる損害についても一切の責任を負いません。
- 本動画で提供する情報については万全を期しておりますが、その情報の正確性を保証するものではありません。本動画の内容は、将来予告なしに変更される可能性があります。また、本動画の内容は過去の情報や実績をもとに作成したものであり、将来の成果を予測するものではありません。
- 本動画に係る一切の権利はJPX及びその他の権利者に属しており、電子的または機械的な方法その他いかなる方法であるかを問わず、いかなる目的であれ無断で複製、または加工・編集等はできません。
- CMEグループの市場データは、株式会社大阪取引所及びその関連会社の特定の商品のための情報源として、ライセンス契約に基づき使用されるものとなります。CMEグループは、株式会社大阪取引所及びその関連会社の商品及びサービスとの間でそれ以外の関係を有してはならず、株式会社大阪取引所及びその関連会社のいかなる商品及びサービスも広告、支持、推奨又は宣伝することはありません。CMEグループは、株式会社大阪取引所及びその関連会社の商品及びサービスに関連して義務又は責任を負ってはおりません。CMEグループは、株式会社大阪取引所及びその関連会社に使用を許諾した市場データの正確性及び/又は完全性を保証してはならず、当該市場データにおける過誤、省略又は中断の責任を負ってはおりません。CMEグループ及び株式会社大阪取引所及びその関連会社の間合意において受益者となる第三者は存在してはおりません。